

交運労協 FAX ニュース NO. 5

港区芝浦3-2-22 田町交通ビル3階 発行日 2019年3月12日
TEL:03-3769-6571 FAX:03-3769-6570 発行人 高松 伸幸
交運労協URL <http://www.koun-itf.jp>

交運労協・連合「交通・運輸」部門連絡会

2019春季生活闘争勝利3.6総決起集会を開催！

交運労協は、3月6日18時、田町交通ビル6階大ホールにおいて、連合「交通・運輸」部門連絡会との共催で、「2019春季生活闘争勝利3.6総決起集会」を開催した。

集会は、木村敬一幹事（連合交通運輸部門連絡会事務局長）の開会挨拶で始まり、集会議長に難波淳介副議長（交運労協労働条件委員会委員長）を選出し、議事を進行した。

主催者を代表して住野敏彦議長は、「交通・運輸・観光サービス産業で働く人材の確保と育成は最重要課題である。そのために、賃金水準を引き上げ、慢性的な長時間労働を是正することによって魅力ある職場環境を確立し、持続可能な交通運輸産業を確立していかななくてはならない。交運労協は2019春闘において、所定内労働で生計を営むことが可能となる賃金水準を確立するための闘いを展開するとともに、賃金水準の絶対値にこだわる取り組みとして、ミニマム賃金水準を設定して闘っていく。また、時間外労働の上限規制が4月から施行されるが、自動車運転業務の猶予期間終了後の早期一般則適用に向けて取り組んでいく」と挨拶した。



来賓の逢見直人連合会長代行は、「2019春季生活闘争の柱は二つある。一つは賃上げであり、上げ幅だけでなく水準にこだわることによって格差是正を図っていききたい。消費増税も控えており、実質賃金の獲得が必要だ。二つは働き方改革だ。4月から時間外労働の上限規制が導入さ

れるが、自動車運送事業が5年後に一般則が適用されるよう連合も取り組んでいきたい。今日はサブロクの日であり、労働組合の無い職場でも36協定が締結される仕組みを作っていかななくてはならない」と述べた。

続いて、第25回参議院議員選挙において交運労協が推薦する、もりやたかし、岸まきこ両候補者より力強い決意表明を受けた。



その後、交運労協三役の紹介を行った後、高松伸幸事務局長が2019春闘および政策・制度要求の取組みについて報告を行った。

続いて、4つの構成組織の代表者が決意表明を行なった。

【交通労連：金子康之総務部長】

現在、要求書提出と併せて職場実態を集約しているが、年休の平均取得日数は年6.8日、年5日未満の組合員がいる比率は回答組合の8割に及ぶ。同様の環境にある未組織の同業他社に対し、正に労働組合の出番である。規制緩和による供給過剰とデフレ圧力を背景に、悪貨が良貨を駆逐する過当競争に陥り、痛ましい事故の続発までに至った。足下では、深刻な人手不足が長時間労働の是正を妨げている。



日々の業務に誇りと責任を持って邁進している組合員の思いを結集して、安心・安全の輸送サービスを安定的に提供し続けるために、働き方改革に着実に取り組んでいく。

【JR総連：熊谷茂組織・共闘部長】



2月1日に開催した中央委員会で春闘の歴史と伝統を守り、統一要求・統一闘争にこだわる方針を確立した。一つは、一律の賃上げと労働条件改善。二つは、非正規労働者の正社員と待遇改善、組織化。三つは、36協定の適切な締結と長時間労働の撲滅、豊かな働き方の実現。

四つは、安全で働きがいのある職場環境の確立と年休が取得できる適正要員の確保である。

現在、一律ベア6000円の要求を全単組が提出し、連日、職場集会や春闘集会・セミナー・学習会を開催し、闘いを進めている。併せて、安全の取り組み、一方的な休日出勤反対の取り組み、働き方改革に伴う取り組み、鉄道ネットワークと地域の足を守りぬく闘いを進めていく。

【航空連合：鈴木龍舞副事務局長】

今春闘では人への投資の継続と拡大にこだわり、産業の付加価値の拡大と波及を取り組みの中心に据えたうえで、四つの項目について取り組み、産業の持続的な発展に必要な基盤強化と職場の魅力向上を図っていく。



一つは、賃金改善の流れを継続するとともに、ベアを軸とした月例賃金改善と併せて産業における目標賃金の水準設定に取り組む。二つは、働き方改革関連法の改正の趣旨と意義を踏まえ、職場の現状を改めて点検し、法を上回るよう取り組むとともに、航空連合「総実労働時間縮減に向けた取り組み指針」に基づく取り組みを進めていく。三つは多様な人材が働き続けられる環境の整備で、四つはワークルールの遵守徹底だ。これら4項目を重点的に取り組み、働く仲間の雇用と生活の安定をめざしていく。

【全港湾：松永英樹書記長】



全港湾は、第40回中央委員会で賃上げ・定年延長などの労働条件改善要求と産別制度政策要求の実現、雇用保障闘争など闘う2019春闘方針を決定した。要求の二本柱として、一つは、賃上げ額は交運労協のミニマム賃金水準を参考に、基本給一律2万円とする。二つは、65歳

までの定年延長を要求するとともに、再雇用制度の充実など賃金も含めた労働条件の向上を求めていく。また、昨年末から2月までに死亡災害が4件発生しており、労災企業補償額の引き上げなど防災の取り組みはもちろんのこと若い人が魅力を感じられる賃金をめざしていく。

具体的な闘いとして、3月13日から14日を中央統一行動日として、国交省・厚労省を中心に行政に対して申し入れ行動を取り組み、要求実現に向け全力で闘う。

4名からの決意表明後、慶島譲治事務局次長が集会宣言（案）を読み上げ、満場一致で採択された後、田野辺耕一副議長が閉会挨拶を行い、最後に住野議長の「団結ガンバロー」で集会は成功裏に終了した。

以上

集 会 宣 言

私たちは本日、田町交通ビルにおいて400名の仲間が結集するなか、「長時間労働を是正し、魅力ある交通運輸産業を創り出そう！」をスローガンに2019春季生活闘争勝利3.6総決起集会を開催した。

日本経済は、世界経済の着実な成長による輸出増と企業収益が過去最高となる中、企業の内部留保は2018年4～6月期には450兆円を上回り、過去最高の更新が続いている。完全失業率は、2018年平均で前年から0.4ポイント改善して2.4%、有効求人倍率も同じく前年を0.11ポイント上回り1.61倍に達している。完全失業率の改善は8年連続、有効求人倍率の上昇は9年連続だ。とりわけ、自動車運送事業における人手不足は深刻で長時間労働が常態化しており、なかでもトラック運転者の年間労働時間は、全産業平均に比べ約2割長いという労働環境に置かれている。

しかし、このような逼迫する雇用状況にもかかわらず、労働分配率は全産業で2012年度以降、低下傾向にある。勤労者世帯において、伸び悩んでいる消費を喚起させるためには、実質可処分所得が継続的に増加することが不可欠であり、そのためには、賃金の伸びが物価上昇率だけでなく、税や社会保険料の増加も加味した分を上回る水準で増加することが必要だ。2019春季生活闘争では、可処分所得の増加を伴う実質的な賃上げを勝ちとることにより、暮らしの底上げを図っていかねばならない。

いま政治は、意図的としか思えない統計・データ・調査の改ざん・操作によって、混迷を深めている。昨年2月の通常国会では、一般労働者より裁量労働制の対象の方が労働時間が短いとした厚労省のデータに不備があったことが判明し、裁量労働制の適用拡大について働き方改革関連法案から削除される結果となった。また、11月には入管難民法改正案を巡り、法務省が失踪した外国人技能実習生を対象に実施した調査結果に重大な誤りがあり、約2千名にも及ぶ実習生が最低賃金以下で働かされていた実態が判明した。そして極めつきが、厚労省の「毎月勤労統計調査」の不正問題であり、2018年の「現金給与総額」の前年比増加率が高い伸びを示したことは、賃金上昇をアベノミクスの成果に掲げる総理官邸に付度したものと疑われても当然だ。

安倍一強政治の弊害が随所に現われてきているいまこそ、政治の転換が求められており、統一地方選の必勝はもとより、来る参議院選挙では、交運労協が推薦する「もりやたかし」「岸まきこ」両候補者の必勝に向け全力を挙げなければならない。

私たち交運労協に結集する65万人の仲間は、2019春季生活闘争と長時間労働是正の闘いを結合させながら、所定内労働で生計を営むことが可能となる賃金水準を確立するために、全力で闘い抜くことを宣言する。

2019年3月6日
交運労協・連合「交通・運輸」部門連絡会
2019春季生活闘争勝利3.6総決起集会